

名古屋市女性会館のあらし

平成30年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	平成30年度事業計画	6
	1 はじめに	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	8

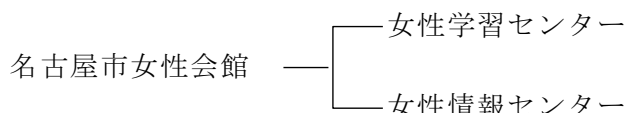
VII	平成29年度事業結果	9
1	主催事業のあらまし	9
	【具体的な事業展開】	10
1	「学習の場」提供事業	10
2	「交流の場」提供事業	12
3	「情報の場」提供事業	14
4	その他	16
VIII	平成29年度利用状況	17
1	開館日数	17
2	利用人数	17

I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン=平等” と “エイブル=可能” を組み合わせた言葉」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
	第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる
	実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	立体駐車場 484.08㎡
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室・第6研修室・第7研修室 多目的室	ホール
2 階	第1研修室・第2研修室・第3研修室 第1和室・第2和室・視聴覚室・授乳室 生活科学研修室・小会議室	録音室・モニター室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム・喫茶室 印刷コーナー・託児室・第4研修室 活動コーナー・図書資料室 第5研修室・図書閲覧コーナー	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

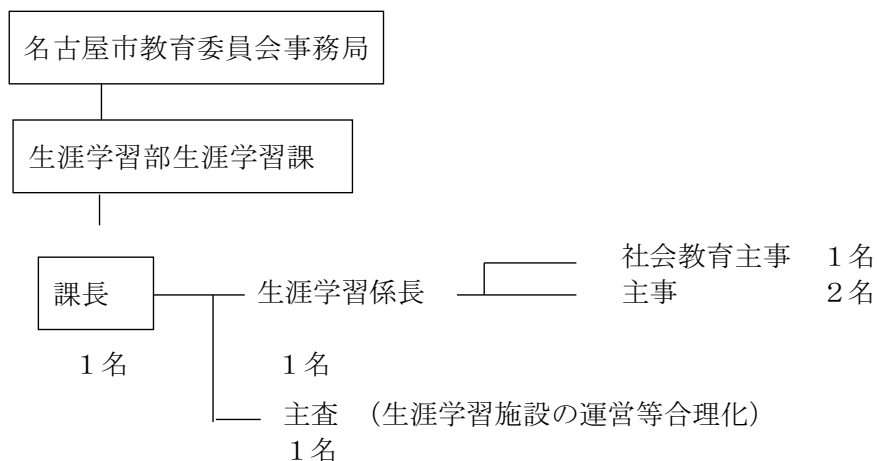
(2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第6研修室	12	33.62			
	第7研修室	32	70.25			
	多目的室	30	76.48			
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	録音室	—	18.52
	第1研修室	54	70.80			
	第2研修室	54	70.80			
	第3研修室	12	29.88			
	生活科学研修室	54	87.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	29.88			
1階	事務室・放送室	—	90.80	第1集会室	36	51.41
	第4研修室	15	32.00	第2集会室	22	37.99
	第5研修室	8	21.39	第3集会室	12	31.26
	文化活動室	50	117.00			
	託児室	—	86.96			
	ボランティアルーム	—	29.96			
	図書資料室	—	163.18			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習係分掌事務（女性会館関係）

- (1) 女性会館の事業
- (2) 女性教育の事業
- (3) 女性会館の管理等に関する合理化

V 予 算

(単位：千円)

事 項	平成30年度	平成29年度	増 減
女性会館運営費	64,873	55,728	9,145
管 理 費	61,663	49,810	11,853
学習機会提供事業	1,145	3,132	△1,987
グループ活動援助	—	39	△39
情報提供相談事業	2,062	2,643	△581
女性カレッジ	3	104	△101

1 はじめに

誰もが、互いの人権を尊重し、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の社会における最重要課題である。

これまでも名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。

平成30年度は、女性会館が開館して40年目を迎える。これまでの実績を踏まえつつ、国の「第4次男女共同参画基本計画」や、本市の「名古屋市男女平等参画基本計画2020」の内容を踏まえ、多様化・高度化する学習ニーズに応え、女性教育を振興する拠点施設の使命を達成していくものとする。そして、「学習の場」「交流の場」「情報の場」を充実させ、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる事業を展開していく。また、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めていく。

2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等、女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を、30年度は、愛知淑徳大学と連携して開催する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

(2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

② 団体・自主学習グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする団体・自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう活動コーナーの学習環境を整えたり、相談を受けたりする。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸出しを行う。

また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連した、男女共同参画の意識啓発や女性の課題解決に向けたテーマでの図書・資料の企画展示を行う。

エ 講座・講演会等で図書資料室や企画展示のガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 新聞、地域誌等の広報媒体を活用した積極的な広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 平成29年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「古典文学を彩る女たち～源氏物語とメディアリテラシー～」や「女性のココロとカラダにきくお話サプリ」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」「難聴者等支援ボランティア養成講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「子どものいのちを守れるママになろう～防災ママカフェ@イーブルなごや～」 「障がい者の結婚・出産・子育て～自分らしく幸せになるために～」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を12回開催した。また、デートDV防止出前講座を11回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

椋山女学園大学と連携して「これからの私のキャリアを考える」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ 総務局男女平等参画推進室との共催で、男女の意識改革、働き方などをテーマに「女もつらいよ、男もつらいよ」として特別講演会を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぼぼ」などの女性学習グループや、名古屋市立大学、名古屋女子大学と連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」69回、「学習支援託児」22回等実施した。
- ・ 託児対象年齢を「1歳から小学校入学前」とした。（平成23年度までは1歳6か月から小学校入学前）

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式サイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、地域誌、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～10月）・後期（10月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児受入数(人)
前期 講座	午前	金	<J-1>古典文学を彩る女たち～源氏物語とメディアリテラシー～ (B)	4	30 (36)	47	36	3
		月	<J-2>【名古屋市立大学連携講座】女性のココロとカラダにきくお話サプリ (A)	4	30 (35)	56	35	7
		火	<J-3> [なごや女性カレッジ] 【栢山女学園大学連携講座】これからの私のキャリアを考える (C)	5	30	32	25	8
		水	<J-4>こころのメール～障がいのある女性とともに～ (A)	5	20	22	20	3
		火	<J-5>私が私らしく生きるために～学びたくなる女性学～ (A)	5	30	32	24	11
		水	<J-6>難聴者等支援ボランティア養成講座1 (C)	4	20	19	16	0
		金	<J-7>託児ボランティア養成講座1 (C)	4	20	24	17	6
前期計		7講座	31	180 (191)	232	173	38	
後期 講座	午前	水	<J-8>難聴者等支援ボランティア養成講座2 (C)	4	20	13	13	1
		金	<J-9>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	12	11	4
		土	<J-10>ママの防災参画のススメ～子どもたちの命と笑顔を守ろう～ (B)	5	30	19	17	9
		火	<J-11>【名古屋女子大学連携講座】幸齢期、いつまでもイキイキ輝いて生きる (B)	5	30	25	21	0
		月	<J-12>あなたと私がつなぐ、輝く未来 (B)	5	30	13	10	4
		火	<J-13>自分らしく生きることを大切に～結婚や出産など、人生のターニングポイントから考える～ (B)	5	30	20	14	6
		金	<J-14>女性のためのアサーティブネス講座～コミュニケーション力をみがく!～ (A)	4	30 (32)	53	32	12
		水	<J-15>多文化共生、はじめの一歩～互いにわかりやすい日本語で話そう～ (B)	4	30	14	11	6
後期計		9講座	40	250 (252)	204	149	61	
主催講座計		16講座	71	430 (443)	436	322	99	
					充足率	72.7%		

※ 括弧内は募集定員増加後の定員。

※ 全71回中10回託児なし。

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数 (人)	託児数 (人)
公開 講座	10月 14日	<E-7>子どものいのちを守る ママになろう～防災ママカフェ @イーブルなごや～	一般社団法人スマートサ バイバープロジェクト 特別講師 かもん まゆ	33	—
	1月 16日	<E-11>障がい者の結婚・出産・ 子育て～自分らしく幸せになる ために～	中部学院大学人間福祉相 談センター相談員 小森 淳子	50	—
「いま」 を 読み 解く	7月 22日	<E-3>女流能楽師からみた能 の世界	能楽師シテ方宝生流 衣斐 愛	143	託児1 受入3
	9月 16日	<E-5>リケジョの輝く未来～ 女性研究者が増えると何が起 こるのか～	名古屋大学准教授 佐々木 成江	41	2
	10月 17日	<E-9>【名古屋市美術館共催】 アートの世界の愛しき女たち	名古屋市美術館学芸課長 井口 智子	89	託児3 受入4
なごや環 境大学共 育講座	6月 3日	<E-2>環境アレルギーと私た ちの暮らし～未来のためにでき ること～	環境アレルギーアドバイ ザー 加藤 美奈子	42	0
名古屋市 博物館共 催「特別 展にみる 女性たち 2017」	5月 15日	<E-1>シーボルトと家族たち	名古屋市博物館学芸員 加藤 和俊	164	1
	8月 26日	<E-4>デザインの源流～松坂屋 コレクションから～	名古屋市博物館学芸員 佐野 尚子	71	1
	10月 16日	<E-8>ピーターラビット™の 原作者ビアトリクス・ポター™	名古屋市博物館学芸員 塚原 明子	86	託児0 受入1
	11月 28日	<E-10>北斎漫画にみる女性た ち	名古屋市博物館学芸員 津田 卓子	115	1
	2月 5日	<E-12>優美なるレオナルド・ ダ・ヴィンチ	名古屋市博物館学芸員 横尾 拓真	206	4
特別 講演会	6月 25日	<E-6>女もつらいよ、男もつら いよ	大正大学准教授 田中 俊之	141	6
		12回		1,181	託児19 受入23

※ E-7、E-11 はそれぞれJ-10、J-13 の第1回目。

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内 容	託児者・講師等	託児延数(人)
講座託児	56回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	280
講演会託児	8回			19
なごや女性 カレッジ	5回			28
学習支援託児	22回			359
託児室交流会	5月12日 10月6日	講座託児説明会&託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	16
	7月28日 1月12日	託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	36
	7月7日 12月6日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	22
			合 計	760

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2017の開催

テーマ「つながろう！ひと・まち・未来が輝くために」

事業名	月 日	内 容 等	参加者数(人)
特別講演会 「女もつらいよ、男もつらいよ」	6月25日	男性学の専門家である大正大学准教授田中俊之氏による、男女の意識改革、働き方などについての講演	141
舞台発表	6月25日	イーブルなごやで活動しているグループによる舞台発表	36
全館オープングループ活動デー	6月24日	全館を使って26グループが活動内容を開放	1,402
交流コーナー・交流会	6月24日	様々な分野で活動している団体による交流コーナーの設置。エンディングの交流会では、全館オープングループ活動デーの様子を参加グループの前で紹介・報告	376
2分の1 B紙展示	5月26日～ 6月25日	B紙の大きさを1/2にして展示 32グループの活動紹介・作品展示	28,931
スタンプラリー	6月24日	館内の指定の場所でイーブルスタンプを押し、景品と交換	153

(2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
もったいないを家庭から「捨てる前の一工夫」	つながれっと3R	木	午前	4	15	1
生きがい探し「演歌を楽しむ」	演歌を楽しむ会	月	午前	4	5	4
エンジョイコーラス(混声)	いちょうの会	土	午前	5	10	4
なるほど子育て講座 ～がんばりすぎない子育て～	NPO法人 日本交流分析協会 中部支部子育て支援部会	日	午前	2	20	7

(3) 研修会・交流会

事業名	回数・月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	託児活動の確認 講座「こどもの主体性を引き出す環境とは―「アフォーダンス」の考え方を学ぶ―」等	名古屋柳城短期大学 勝間田 晶子 ほか	86
要約筆記ボランティア研修会	2回	「わかりやすいノートテイクの仕方」等	NPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 大橋 千鶴子	3
点訳ボランティア研修会	11月24日	中部盲導犬協会定期見学会	社会福祉法人 中部盲導犬協会職員	7
子育てグループ交流会(子育てグループ交流会共催)	8月30日 2月28日	仲間と一緒に親子であそぼう♪	遊育アドバイザー 竹内 由美 ほか	43 37
			合計	176

3 「情報の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	学習 プログラム	その他	合計
102	27	46	3	1	96	6	300	581

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	平成29年度	平成28年度
貸出利用者数	939人	1,279人
貸出利用冊数	2,183冊	3,199冊
予約・リクエスト件数	33件	25件
新規登録者数	120人	176人

イ 蔵書数

区 分	平成29年度末	平成28年度末
図書・資料 計 (除籍含む、図書システム登録済み全図書数)	29,874 (29,915)	29,462 (29,493)
図書 ※1	20,634 (20,659)	20,422 (20,437)
雑誌 ※2	5,176 (5,177)	5,063 (5,064)
資料 ※3	3,798 (3,801)	3,712 (3,715)
VTR、DVD、CD-ROM	266 (278)	265 (277)

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We learn」「女たちの21世紀」「婦人公論」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など。

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開催期間	テーマ	展示した図書の内容
1	5月1日～ 5月31日	多様性を活かした社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進について ・女性の働き方改革について ・障害者自立支援制度について
2	7月1日～ 7月31日	女性のキャリアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のキャリアデザインについて ・女性のワーク・ライフ・バランスについて ・女性の生き方・働き方について
3	9月1日～ 9月30日	コミュニケーション能力を高めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションについて ・上手な話し方・聞き方について ・プレゼンテーションやディベートについて
4	11月1日～ 11月30日	DVと児童虐待について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・DVやデートDVについて ・児童虐待について ・子どもの貧困と虐待について
5	1月7日～ 1月31日	少子高齢化社会における子育て・孫育て	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における子育て支援について ・日本における子育て・孫育てについて
6	3月1日～ 3月31日	多文化共生の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における多文化共生について ・日本における国際理解について ・日本と世界における人権と多様性について

4 その他

(1) ホール機器研修会

開催日	参加者 (人)
平成29年 4月13日	12
平成29年 5月11日	13
平成29年 6月 8日	6
平成29年 7月13日	4
平成29年 8月10日	14
平成29年 9月14日	18
平成29年10月12日	21
平成29年11月 9日	29
平成29年12月14日	7
平成30年 1月11日	5
平成30年 2月 8日	3
平成30年 3月 8日	5
合計	137

Ⅷ 平成29年度利用状況

1 開館日数 341日

2 利用人数 312,888人 (平成28年度 310,273人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

251,149人 (平成28年度 245,691人)

区 分	女 性	男 性	計
貸 室 (男女平等)	37,107人	14,068人	51,175人
貸 室 (女性教育)	77,328人	14,062人	91,390人
貸 室 (その他)	60,273人	40,802人	101,075人
主催講座	5,791人	1,718人	7,509人
計	180,499人	70,650人	251,149人

(2) その他の利用人数

61,739人 (平成28年度 64,582人)

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	3,451人	1,541人	4,992人
ボランティアルーム	1,424人	55人	1,479人
録音室・モニター室	130人	85人	215人
その他(※)	—	—	55,053人
計	5,005人	1,681人	61,739人

(※) 貸室以外で行った事業及び、図書資料室・活動コーナー・情報フロアなどの利用者を計上

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	651 ^件	68.0 [%]	12,743 ^人
中会議室	792	82.8	8,786
小会議室	753	78.7	4,809
大研修室	796	83.2	21,006
第1研修室	703	73.5	14,174
第2研修室	620	64.8	12,175
第3研修室	758	79.2	4,279
第4研修室	735	76.8	5,301
第5研修室	814	85.1	3,804
第6研修室	800	83.6	4,833
第7研修室	773	80.8	7,858
第1和室	673	70.7	4,230
第2和室	526	55.3	2,103
生活科学研修室	535	55.9	7,277
視聴覚室	650	67.9	26,530
文化活動室	830	86.7	14,538
第1集会室	726	75.9	10,493
第2集会室	767	80.1	6,652
第3集会室	805	84.1	4,557
第4集会室	741	77.4	14,856
多目的室	877	91.6	8,490
ホール	390	40.8	51,655
合計	15,715	74.7	251,149
平成28年度合計	15,589	72.7	245,691